

ボートレースの話題が集まるメディア向け情報誌

# Propel

プロペル

I LOVE BOAT RACE  
ボートレースのここが大好き!

島崎和歌子さんと  
富樫麗加選手・中村かなえ選手  
対談

ボートレースアンバサダー  
植木通彦が答える  
ボートレースのギモン?

Vol.36 ボートレースPR情報誌



I  LOVE  
BOAT RACE

[ボートレースのここが大好き!]



## 身体メンテナンスと体重管理はボートレーサーの基本

堂前 島崎さんは『BOAT RACEライブ 勝利へのターン』を長くやっておられます。番組収録後は出演者や番組スタッフと話したりしますか？

島崎 この前、ゲストで来ていただいたレーサーの方に「番組を見ている」と言われました。レーサーの方も見てると思うと気が引き締まりますよね。

この番組、富樫選手と中村選手はご存知ですか？

中村 見たことがありますよ。

島崎 見てるんだ、やっぱり! (笑)。ありがとうございます。

ところで、お2人はレースがないときはどう過ごしていますか？

富樫 休みの日はいつも家でダラダラしています。あっ、今日はピラティス(エクササイズ)に行ってきました。

中村 私はトレーニングジムに行っています。気休め程度ですけど。

島崎 身体のコンディションを大事にしているんですね。食事にも気を遣っているんですか？

富樫 1日3回は必ず体重計に乗ります。家ではご飯をいっぱい食べちゃうので。体重50kg以上って、女子ではメチャ重いんですよ。一気に体重を落とすと体調を崩すので、普段から気をつけるようにしています。

中村 私は富樫選手と逆です。体重が軽いし、レース場に入るとさらに体重が減っちゃうので、メチャクチャ食べないといけないんですよ(笑)。



## 普通の大学生がボートレーサー!? 真逆だった両親の反応

島崎 お2人は大学在学中にボートレーサーを志したそうですが、就活にボートレーサーという選択肢が入ってましたか？

富樫 いえ、大学がボートレース多摩川の近くだったんです。大学1年のときに多摩川でレースを見て、「レーサーになりたい!」と思いました。目の前で繰り広げられるレースの迫力や水しぶき、モーターの音も凄かったですよ。家に帰って、父に「明日、大学を辞める。ボートレーサーを目指す」と言ったら、メチャクチャ反対されました(笑)。

1回だけ受けさせてほしいと親を説得して、一発で合格しました。多摩川でボートレースと巡り合えてラッキーでしたね。

中村 私は家がボートレース江戸川の近くなので、ボートレースは小さい頃から知っていました。ただ、サッカーや野球みたいに子供の頃からやっている人がなるものだと思っていたので、選択肢にはなかったですね。

初心者でもボートレーサーになれると知ったのは大学卒業間際です。既に大学院も受かっていたので、大学院卒業後は化粧品とかの研究所へ入ろうかと考えていたんですが、「ボートレーサーになる!」と決心して応募しました。母は「ボートレーサー? 面白そうだね」と、応援してくれました。

島崎 プロのボートレーサーになって、楽しかったことや辛かったこと、イメージと違っていたことはありますか？

富樫 「レーサーにならなければ良かった」と思ったことは1

## 生で観戦すれば、絶対にボートレースは面白い!

『BOAT RACEライブ 勝利へのターン』の司会でお馴染みの島崎和歌子さんと堂前英男さんが、現役女子ボートレーサーの富樫麗加選手、中村かなえ選手にインタビュー!巧みなトーク術で、2人から本音を聞き出しちゃいました!



回もありません。この職業が自分に合っているかはわからないけど、頑張った分だけお金も入ってくるんで(笑)。楽しいのはやっぱり、レースの成績が良いときです。良い着をとれたら楽しいし、良い着をとれなければ楽しくないです。

島崎 実力勝負の世界はわかりやすいものね。結果が悪いときは八つ当たりとかしますか? ピットに上がった選手はどんな思いだろうか、と考えますよ。

富樫 人にもよりますが、私は落ち込むと“負のオーラ”が出る気がするので、逆に明るくしようと心掛けています。

島崎 中村選手はどうですか?



中村 私はデビューして1年も経っていないので、プレッシャーも少なく。私の舟券をとった方が「ありがとう!」とツイッターにコメントをくれたりしますね。少し前に、ファンの方から「横断幕ができたよ」と連絡をいただいたんですよ。何年か経てば違うのかもかもしれませんが、今は楽しくレースをしています。





# ボートレースは“家族で楽しめる”レジャーです。



とは「よく、ボートのCMをやっているね」と言われるようになりましたね。昔からよく放送されていたと思うのですが(苦笑)。意識すると、気がつくんですね。やっぱりキッカケって大事です。

## 女子初のSG覇者の夢に向かって 元気よく走り続ける

**島崎** 最後に、お2人の“夢”は？ 将来的な夢でも良いですよ。  
**富樫** 将来的な夢なら、まだ女子でSGを優勝した選手がいないので、いつかそういう舞台に立てるようになりたい。身近な夢だったら、クイーンズクライマックス出場12人に入って、年末の大舞台で戦いたいです。

**中村** 私は少しずつで良いから、成績を上げていきたい。将来的な夢は果てしなく遠いところがあるので、まずは成績を上げていくという、身近な目標に向かって走って行きたいです。

**島崎** ボートレーサーは年齢や生活に関係なく続けられる仕事だから、やれる限りは絶対にやったほうが良い。レーサーを辞めなくなったときは、私の顔を思い出してね(笑)。



## プロフィール



**島崎和歌子**  
しまぎき・わかこ  
1973年3月2日生まれ。  
高知県出身。  
1989年「弱っちゃんだ」で歌手デビュー。

その後TBS系「オールスター感謝祭」の総合司会をはじめ、ドラマやバラエティーなど、ジャンルを問わず活躍するオールラウンダー。その豪快な笑い方と、思ったことは何でも口にする本音トークで、幅広い層の支持を集める。2005年より高知県観光大使を務めている。



**4758 富樫麗加**  
とがし・れいか  
1989年11月8日生まれ。  
東京都出身・112期生。

白百合女子大学フランス語フランス文学科卒業。2013年5月に平和島でデビュー。17年5月に下関でデビュー初優出、初優勝を飾る。6コースから3連単20万円超の配当を出した初優勝も凄いが、17年にはフライングを多発して180日間休むなど、何をしても目立つタイプ。当然、トークショー等への出演依頼も多い。



**4998 中村かなえ**  
なかむら・かなえ  
1993年9月4日生まれ。  
東京都出身・121期生

お茶の水女子大学理学部科学科卒業。子供の頃からボート好きだったが、大学時代に先輩から「就活情報誌でボートレーサーの募集記事を見つけた」と聞いて受験し、一発で合格。2017年11月、平和島でプロデビューを果たす。正真正銘の“リケジョ”ボートレーサーである。



## 見れば「面白い」と言ってくれる キッカケって大事です

**堂前** 島崎さんにとって、“ボートレース”ってどんな印象ですか？

**島崎** この番組を始めた当初は、特別熱くならなかったんですよ。ただ、自分が年齢を重ねていくうちに、レーサーの方たちがグランプリやクイーンズクライマックスに懸ける思いがわかるようになってきました。レーサーも人間だし、万全じゃないときもあるじゃないですか。それでも頑張らなきゃいけない。その積み重ねが年末の一番なんだと思うと、胸が熱くなってくるんです。

**堂前** 年齢を重ねていくうちに？

**島崎** 40歳、50歳になっても、結婚しても、子供ができてでもできる。そんなスポーツは、なかなかないですよ。見ていると凄く励みになるし、応援したくなります。富樫選手も中村選手も、今は若いからわからないと思うけど、人間って40歳を超えると本当に大変。芸能界なんて、年をとったら「あっちへ行ってくれ」な世界ですよ。若い子の方ばかりに行っちゃうんだから(苦笑)。

**富樫** 芸能界って、若い子がどんどん入ってくるじゃないですか。

**島崎** 自分も若いときがあったから、「こんな感じだったのか

な」と懐かしく思う面もあります。ただ、こっちの世界も、座れる椅子の数は決まっている。「おっ、勝負しよう」と思いますよ。

**堂前** レース場の印象はどうでしょう？

**島崎** 綺麗になりましたね。実は私、昔は歌を歌っていたんですよ(笑)。10代の頃はボートレース丸亀にお邪魔して歌ったりしていました。その頃と比べると、お客さんの層が本当に幅広くなった。場内に子供の遊び場や託児所もあるので、家族で行けるレジャー施設になりました。今はボートレースそのものに親しみが持てます。富樫選手、中村選手の周りの人たちはどうですか？

**富樫** 友達はボートレースを知らない人ばかりで、説明しても「わからない」と言われるんです。そういうときは、生でレースを観戦してもらうのが一番！ レース場に呼ぶと、みんな「ボートレースは面白い！」と言ってくれます。平日にレース場で待ってしてくれるファンの方を見ると、「仕事は大丈夫かな？ 無理していないかな」と不安になっちゃうときもあるんですけど…。応援してくれたり、横断幕を作ってもらったりするのは、凄く嬉しいです！

**中村** 私の友達もボートレースをまったく知らなかったんですが、私がレーサーになったのを知ってからはレース場まで応援に来てくれます。成績もチェックしてくれるようになりました。あ



ボートレースのここが大好き!

## ボートレースアンバサダー 植木通彦が答える ボートレースのギモン?



### Q レースは何時から始まるの?

会社の始業時間で一番多いのが午前9時です。ボートレースはそれよりも少し早めです。モーニングレースというのがあって、1Rの発走が8時50分頃です。レース直前に展示航走があり、これは8時30分頃から始まります。モーニングレースは、ボートレース鳴門が9月から3月まで、通年では徳山、芦屋、からつで、行っています。出社前に舟券を買っておこうというお客様のために、7時30分からオープンしているボートレースチケットショップもあります。アフター5のお客様にレースを楽しんでもらうナイトレースは、午後3時頃に1Rがスタートし、午後8時40~50分頃に最終の12Rが終わります。



### Q レースのグレードって?

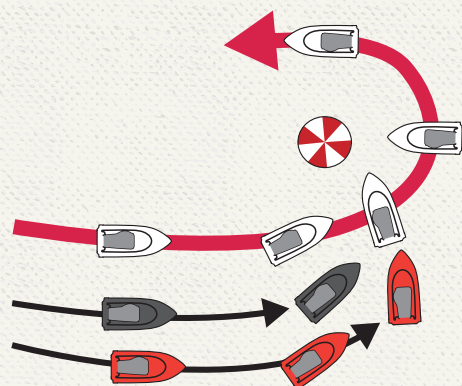
1年間に全国のレース場で約5万レースが行われています。これだけたくさんのレースの格付けをするのが「グレード」です。SG(エスジー)、GI(ジーワン)、GII(ジーツー)、GIII(ジースリー)、一般競走の5段階に分かれており、これでボートレースがピラミッドのように体系化されています。グレードは、上位に行けば行くほど賞金が高くなっています。頂点にあるレースがグランプリで、年間の獲得賞金上位18名が出場します。優勝賞金は1億円。私もグランプリで3回優勝しており、優勝した2002年の年間獲得賞金は2億8393万円になりました。この年間獲得賞金記録はまだ破られていません。



### Q 決まり手って何?

決まり手と言えば、大相撲をイメージしますね。大相撲の決まり手は82手もあるそうです。ボートレースは、1周1マークをトップで抜け出せば、波のないところを走れるので後続艇を引き離せます。ボートレースの決まり手は、1周1マークでどういった走り方をしたかで決まります。1コースから先に回って1着になるのを「逃げ」、2~6コースからスピードをつけて外から抜いて行くのが「まくり」、2~6コースから内側の艇を先にターンさせた後、ターンのすき間を抜けていくのが「差し」、まくりと差しをミックスした高度な「まくり差し」、1周2マーク以降で逆転があると「抜き」、フライングや妨害失格で先行艇が除外になったときに1着に繰り上がるのが「恵まれ」です。

### 決まり手(逃げ)



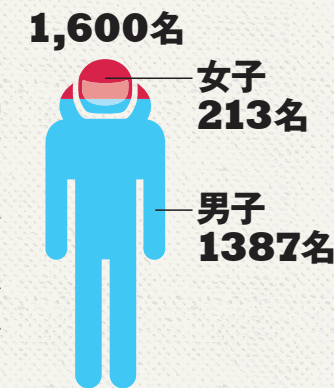
### Q レーサーの級別って?

ボートレーサーはA1級、A2級、B1級、B2級の4つの級別に分けられます。審査は年に2回行われ、級によって走るレースや稼働日数に差があります。一番上の階級はA1級です。稼働日数は月15日以上、中でもトップクラスの選手は優勝賞金が数千万円のSGや8~900万円のGIばかりを走ります。成績の良い選手や新人はB2級で、仕事は月8日ほどしかありません。ボートレーサーの平均年収は約1,600万円といわれますが、1億円以上の選手もいれば、500万円程度の選手もいます。



### Q レーサーは何人くらいいるの?

2018年11月14日時点の選手数は1,600名で、そのうち女子が213名です。1開催につき40~52名の選手が出場します。正月やお盆など全国24場が一斉に開催するときは、1日に1,000名以上の選手が走っていることになります。フライング休みなどで走れない選手もいるので、このくらいの選手数は必要なのです。ボートレースは他の競技と比較して選手人生が長く、高塚清一選手は71歳でも現役選手として活躍しています(2018年10月1日時点)。また、現在トップ級と呼ばれる選手の多くは30歳台です。



### Q レーサーの支部って?

公益社団法人日本モーターボート選手会の支部のことで、全国に18の支部があります。ボートレーサーは全員、選手会に所属しています。福岡、東京、愛知、大阪など大都市の支部は所属選手数も多く、現在一番少ないのは滋賀支部です。正月やGW、お盆には地元支部の選手を集めたレースが行われます。「三都市対抗戦」など支部対抗のレースもあります。出身地とは違うので、中には「あれ?」と感じる選手もいるかもしれませんね。埼玉支部の桐生順平選手は福島県出身、静岡支部の菊地孝平選手は岩手県出身、福岡支部の日高逸子選手の出身は宮崎県です。



### 植木通彦プロフィール

現役時代は最高峰のレースであるSG(スペシャル・グレード)で5年連続の優勝を飾るなど、圧倒的な強さで「艇王」と称されたトップレーサー。デビューして3年目の1989年1月に、ボートレース桐生で事故に見舞われたが、半年後に、同じ桐生でレースに復帰した。負傷した水面を復帰の舞台に選んだのは、自分自身を奮い立たせるためだったという経緯から「平成の不死鳥」とも呼ばれた。その後は数々の記録と名勝負を残し、約20年間の現役時代の獲得賞金総額は22億6000万円を超え、2007年に39歳の若さで惜しまれつつ引退。

引退後は、ボートレーサー養成所(旧やまと学校)の校長を務め、今年からはボートレースアンバサダーとして、ファンとの交流など、活躍の場を広げ、ボートレースの普及に尽力している。

植木通彦  
オフィシャル  
ブログ



## 番組紹介 BOAT RACE ライブ 勝利へのターン

毎週日曜日16:00~16:56、BSフジにて放送中。司会は島崎和歌子、堂前英男、解説は秋山基裕(元ボートレーサー)のレギュラー陣に加え、舟券予想の“チャレンジャー”として、毎回ゲストが参加。白熱するレースライブはもちろん、ボートファンが直接予想を楽しめる「3連単ボックス予想クイズ」、大注目のルーキーの強さに迫る「レーサーズファイル」など、最新のボートレース情報も大好評。『LET'S BOATRACE』をテーマに、ボートレースファンからボートレースに馴染みのなかった視聴者まで、ボートレースの楽しさ面白さをお届けする番組。

番組収録後の出演者による賑やかな「反省会」の様子や、番組オフショットなどを随時更新しているスペシャルサイトはこちら▶

勝利へのターン 検索 🔍



## ボートレース住之江

〒559-0023 大阪府大阪市住之江区泉1-1-71

ボート界最高峰のレース「グランプリ」を全32回中27回も開催しています。ファンなら一度は行っておきたいレース場です。なんば、梅田など繁華街へのアクセスも抜群。ナイターレース開始後は仕事帰りに楽しむ人も増えています。雨水や工業用水を使用しているので水が硬く、道中逆転シーンも少なくありません。

ボートレース住之江 検索 🔍

### [交通]

地下鉄四つ橋線「住之江公園駅」北改札2号出口より徒歩3分



## PICK UP BOAT RACER

注目の選手



## 4885 大山 千広(福岡)

若手有望選手を強化育成する「スター候補制度」の対象選手で芦屋(福岡県)のフレッシュルーキーに2年連続で選出された。9月にはヤングダービーでG1初優出を果たし、目覚ましい活躍を見せている。デビュー時は母の大山博美元選手とともに史上初の母子レーサーとして話題になった。

### 日本財団の紹介



日本財団に関する情報はこちらから ▶ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>  
日本財団会長 笹川陽平ブログ ▶ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。  
年の三分の一を海外活動に充て、  
海外情報や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。

日本財団会長の  
笹川陽平ブログ



### 取材の申し込み・お問い合わせはこちらまで



広報部 広報宣伝課

〒108-0073  
東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館

TEL 03-3451-0501 FAX 03-3451-0429

BOAT RACE 振興会ウェブサイト  
▶ <http://www.boatrace-pr.jp/>  
BOAT RACE オフィシャルweb  
▶ <http://www.boatrace.jp/>

BOAT RACE  
振興会ウェブサイト



IS 563662 / ISO 27001:2005

「ISO/IEC27001:2005」を  
認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、  
全部門を対象とした情報セキュリティマネジメント  
システム(ISMS)の国際認証基準  
「ISO/IEC27001:2005」を認証取得しました。